

ふくしま 市議会 だより

VOL.229 令和8年2月1日発行



－ 主な掲載内容 －

- ・ 定例会議の概要など…… P 2
- ・ 常任委員会の審査結果… P 3
- ・ 代表質問…………… P 4～P 5
- ・ 一般質問…………… P 6～P 7
- ・ 市議会のしくみなど…… P 8
- ・ 議案等の審議結果…………… P 9
- ・ トピックス…………… P 10

写真提供：福島県立福島西高等学校写真部 菅野 敬太郎さん
テ ー マ：わたしの好きな福島市 「奉納」
撮影場所：羽黒神社

定例会議

令和7年度 補正予算など31件可決 ～12月定例会議の概要～

令和7年12月市議会定例会議は、12月1日から12月25日までの25日間にわたり開催されました。

定例会議初日の12月1日には、木幡浩前市長の退任あいさつがありました。10日には、馬場雄基新市長の所信表明のあいさつの後、令和7年度補正予算など議案26件及び報告1件が提出され、市長から提案理由の説明がありました。

その後、16日に行われた代表質問には、会派

を代表した5人の議員が登壇、17日から3日間にわたり行われた一般質問には、12人の議員が登壇し、市長の政治姿勢や市政各般にわたる課題についての質問がなされました。

また、19日の本会議において、人口減少対策に関する調査特別委員会が設置され委員が選任されました。

最終日の25日には、物価高対応子育て応援手当にかかる一般会計補正予算7億9,500万円を含む5件の追加議案が提出されたほか、各委員長報告、討論、採決が行われ、提出された議案については、いずれも原案のとおり可決または同意されました。



活動報告

人口減少対策に関する調査 特別委員会を設置しました

12月19日の本会議で、委員11名による人口減少対策に関する調査特別委員会が新たに設置されました。

本特別委員会は、少子高齢化や都市部への人口流出などにより、人口減少が急速に進む中においても、選ばれるまちとして、社会基盤の維持、経済の成長を図ることにより、人口減少を抑制し、持続可能で活力あるまちづくりに関する調査を行います。

調査事項

- ・人口の社会増につなげるまちづくり
- ・若者や女性にも選ばれるまちづくり
- ・付加価値を高めた持続可能なまちづくりに関する調査の件

委員構成

委員長	萩原 太郎	副委員長	二階堂利枝
委員	鈴木 哲	丹治 誠	佐原 真紀
	川又 康彦	七島 奈緒	佐々木 優
	鈴木 正実	高木 克尚	渡辺 敏彦

常任委員会の新たな所管事務調査がスタートしました

市議会では、各常任委員会が所管する市の事務に関する調査を行い、その調査結果に基づき、市長などに対し、政策立案と政策提言を積極的に行っております。4つの常任委員会の調査内容についてお知らせいたします。

総務常任委員会

テーマ：市民が安心して過ごせる避難所に関する調査
目的：避難所運営において多様化する市民ニーズへの対応と避難所の環境の向上に資するため、市民が安心して過ごせる避難所に関する調査を行います。



文教福祉常任委員会

テーマ：自殺対策に関する調査
目的：市民一人ひとりが共に支えあう、誰も自殺に追い込まれることのない地域社会の実現に資するため、自殺対策に関する調査を行います。



経済民生常任委員会

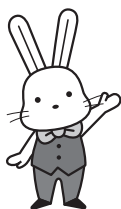
テーマ：国際会議観光都市認定による効果・影響に関する調査
目的：地域経済の活性化や知名度向上に資するため、国際会議観光都市認定による効果・影響に関する調査を行います。



建設水道常任委員会

テーマ：人口減少社会における持続可能な上下水道事業に関する調査
目的：将来にわたり健全で安定した上下水道事業の経営に資するため、人口減少社会における持続可能な上下水道事業に関する調査を行います。





総務

林野火災注意報の新設等

条例を改正し、林野火災の出火防止を目的とした林野火災注意報の新設、当該注意報発令による火気使用制限に伴う努力義務の追加、たき火行為に関する届出の明確化などにより、林野火災予防対策の向上を図る。

(主な質疑と答弁)

問：本市の過去の気象状況に当てはめた場合、注意報発令に該当する件数はどの程度か。また、市民に対する周知方法を伺う。

答：11月から翌年5月までの発令期間において、発令指標である前3日間の合計降水量が1mm以下、かつ、前30日間の合計降水量が30mm以下となったケースは、令和4年26件、令和5年14件、令和6年16件である。令和8年1月より、消防本部HPや市政だより等を通じて、市民へ周知を図る。

文教 福祉

定期予防接種事業の拡充

子宮頸がんのキャッチアップ接種の条件付き延長や高齢者帯状疱疹予防接種の接種回数が想定を超えたこと等に伴い、接種回数を追加し対応する。

- ・子宮頸がん予防接種回数
：1,595回から3,882回に
- ・高齢者帯状疱疹予防接種回数
：4,810回から10,923回に



(主な質疑と答弁)

問：子宮頸がん予防接種回数の積算について。

答：国のキャッチアップ接種の条件付き延長として、令和4～6年度に1回でも接種を受けている場合、令和7年度に限り無料で残りの接種を受けられるため、延長の対象となる全ての方が、予防接種を受けられるよう接種回数を追加する。

経済 民生

消費生活センター移転

条例の改正により、消費生活相談窓口を市民相談室と一元化し、連携を強化することで、市民の消費生活のさらなる安定と向上に寄与するため、消費生活センターを福島市役所庁舎棟に移転するもの。

(移転場所)

- 移転前：ウィズ・もとまち2階
- 移転後：福島市役所庁舎棟1階

(移転のメリット)

- 法律相談の説明や予約などの手続きがスムーズに行える。
- 庁内関係部署間との連携の強化が図られる。

(主な質疑と答弁)

問：市民相談室と統合することにより、人員体制の変更はあるか。

答：現在の体制と変更はなく、職員3名、消費生活相談員4名、市民相談室の相談員2名となる。

建設 水道

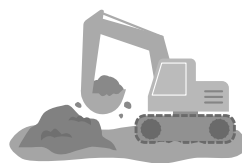
福島駅東口地区市街地 再開発事業

建築本体工事に入る前の準備工事である地下躯体の解体工事と一部埋戻し工事に着手し、令和8年度に計画している建築本体工事へ途切れなく事業を進め、再開発事業全体の工期短縮につなげる。

(主な質疑と答弁)

問：当該工事の実施により、再開発事業全体の工期短縮が図られるということか。

答：当該工事は、当初の計画から予定していた工事の1つで、次の建築本体工事に移行するために必要な工事である。実施することで直接的に工期短縮につながるものではないが、計画的かつ着実な工事の執行により全体のスケジュールを遅らせないという観点で進め、令和11年度のオープンを目指す。



真政会



こまつ よしゆき
小松 良行



市民の生命と財産を守ることに

Q 大規模災害が多発する中、市長は市の代表として、市民の生命と財産を守り抜く重責を担うが、どのような姿勢で取り組むのか。

A 市民の生命と財産を守ることは、すべての政策に優先する最も重要な使命であり、最悪を想定し最善を尽くすという危機管理の原則を徹底していく。第1にデータに基づく防災体制を強化し、行政、市民ともに正確な情報にアクセスできる仕組みを整え、被害を最小限に抑える。第2に地域の自主防災組織、学校、企業、医療福祉機関などとの連携を平時から深め、顔の見える協力体制を築いていく。第3に避難所運営、物資供給など実際のオペレーションの質を高めるため、訓練やシミュレーションを徹底し、実行力のある危機対応体制を作り、実践的な備えを積み重ねることが重要である。何より、市民一人ひとりが自分の命を守る力を高めていただくことも欠かせないことから、今後もしっかりと、身近で命を守る行動につながる情報を届けるよう努める。

■その他の主な質問

- メガソーラー発電施設の設置規制強化についてこれまでの取り組みの評価と今後の国、県への働きかけ
- 駅東口再開発事業の問題点と見直しの必要性
- シルバーパスポート制度の課題と今後の展開
- 持続可能な財政運営に対する見解

真結の会



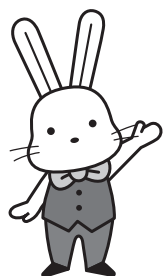
いしど かずてる
穴戸 一照



市政運営について

Q 市が何に挑戦するのかを含め、市の代表として、市長が市政に取り組む基本方針は。

A 地方行政の課題が多様化、複雑化する中、未来を切り拓いていくには、果敢に挑む挑戦の文化が必要であり、挑戦するには人が安心できる環境が不可欠である。市が進める次世代文教都市では、人が安心して住み育つ安心社会をつくり、挑戦の文化を根付かせ、挑戦の積み重ねの先に未来を切り拓くという循環を生み出していく。すべての子ども達も笑顔にし、まちのみんなが笑顔になる、



豊かな経済を創造する次世代文教都市の実現に向け、3つの最優先事項と8つの基本方針に基づき取り組みを進めていく。市政を担う上で大切にした姿勢は、市民と共に前へ進む市政である。人口減少、物価高騰、災害リスクなど直面している課題は、地方において厳しさを増しており、東京一極集中が進み、地方から人と経済が流出する構造が続いている。地方の豊かさをつくり続けるには、市民と共に未来をつくる姿勢が不可欠であり、公開型の対話集会やデータに基づく政策判断を通し、市政の方向性を市民と共有し、納得できる決定を積み重ねていく。市民一人ひとりと向き合い、寄り添い、共に前へ進む姿勢を貫き、市民一人ひとりの力の結集で、市全体を強くしていく市政を目指す。市政運営には財源が必要であるため、安心して人が住み、集える環境をつくり出し、挑戦の文化を根付かせ経済を起こし財源を整えたまちづくりを土台とし未来づくりにつなげていく。この人づくり、まちづくり、未来づくりの循環により成り立つ次世代文教都市を目指すビジョンとして、市政を動かしていく。

■その他の主な質問

- 市民目線の大改革を行うための最優先事項とした3項目について
- 3つの最優先事項と8つの基本方針の具現化のための「ふくしま共創のまちづくり計画」の再協議、見直し
- 再開館する民家園(旧広瀬座)の管理運営方式
- 市議会議員の定数削減

市民 21



たかぎ かずひさ
高木 克尚



市の歴史と未来戦略本部

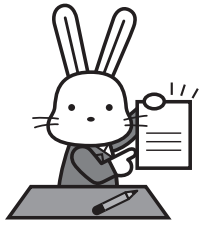
Q 基礎的かつ安定した市民サービスを地道に提供するといった本市の生い立ちと未来戦略本部の役割と市の歴史観を踏まえ第7次総合計画などの基本的構想を未来戦略本部ではどのように取り扱うのか。

A 市の歴史は、明治、大正、昭和、平成、令和とつながった一つの歩みと考えている。県政や文教の中心を担い、恵まれた都市基盤を形成してきた本市の歴史を尊重することは当然のことと認識しており、先人によって築かれた大切な財産である。歴史を継承し次の時代へ生かすこと

が、市長の役割と捉えている。未来戦略本部は、各支所単位での対話集会や各分野の方との意見交換会などを通して、世代や立場を問わず、共に前へ進む場としての役割を担う。多様な市民の声を政策に反映していくことで、市民の行動がまちを変える実感を持てる市民目線のまちづくりを進めていく。8つの基本方針でも歴史文化の継承を掲げており、18年に及ぶ市政の歩み、流れを理解し、受け止め、未来戦略本部における市民目線の改革を通し、市民が挑戦できる新しい県都福島づくりを進めていく。

■その他の主な質問

- 本市における閉塞感の状況と解決に向けた対応
- 総合計画策定延期による影響
- 駅前再開発の優先整備エリア設定に伴う工事費や法的対応への影響
- カスハラ防止に向けた制度の構築



公明党

東西一体の
まちづくり



丹治 誠
たんじ まこと



Q 東口再開発の進捗に合わせ、西口や周辺エリアの整備をどのように進め、東西のバランスを確保するのか、交通結節機能や回遊性の向上を含め、市民生活に直結する利便性をどのように高めていくのか。

A 東西一体のまちづくりについては、東口再開発だけでなく西口も含めた駅周辺全体の価値を高めることが重要である。東口及び西口周辺の将来像を見据えた中で、東西の連携強化に向けた新たな東西自由通路や交通結節機能が集中する東口、西口駅前広場の再構築など、市民の皆様が快適に利用できるよう、駅東西を一体的にとらえた回遊性を意識した計画を検討していく。

■その他の主な質問

- 本市独自の重点支援地方交付金の活用
- 子育て家庭への支援強化
- 既存メガソーラーにおける防災面、景観面の対応
- 本市の目指す将来像と次世代文教都市について

日本共産党

公共施設の
市民利用



山田 裕
やまだ ゆたか



Q 東口再開発の公共施設において、これまでの呼び込み型の利用から、市民の利用を最優先するという方針か。

A 駅前施設には、市民利用スペースとして自由に利用できるまちなかりビング、屋上広場などを設けるとともに、フレキシブルホール、会議室は、市民の皆さんにもハレの場として大いに利用いただきたいと説明してきた。市民の日常的な利用をどうするかという点を重視しながら、機能の磨き直しを図っていく。一方で、これまでの議論の経過を尊重していかなければならないため、両方の観点をかんがみながら、関係者としっかり協議を重ねた上で最善策を一緒に考え出していく。

■その他の主な質問

- シルバーパスポートの上限撤廃
- 重点支援地方交付金による水道料金の減免
- 2013年まで遡及した減額された生活保護費の全額支給
- 雇用保険に加入していない労働者数と割合、県への支援要請と市独自の賃上げ支援

議会を傍聴してみませんか！

■本会議の傍聴

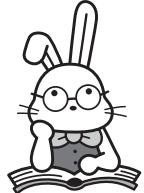
会議当日に複合棟(議事堂)5階の傍聴受付で傍聴証をお渡しした後、傍聴席へご案内します。

本会議における一般傍聴席の定員は62席のほか車いす席が4席で、いずれも先着順となります。

■委員会の傍聴

会議当日に複合棟(議事堂)4階、議会事務局で傍聴証をお渡しした後、委員会室へご案内します。

委員会における一般傍聴席の定員は5席で先着順となります。



一般質問 Q & A

●記事の内容 掲載している質問・答弁は要約しています。詳しくは録画中継や会議録をご覧ください。
●録画中継 各記事の二次元コードから、録画中継をご覧いただけます。



ささき ゆう
佐々木 優



Q 先達山メガソーラーについて、専門家の話を聞き、対策の必要性を真剣に考えるべきでは。

A これまで林地開発の許可権者である県が、調節池、盛土や切土、斜面排水等を段階的に確認する検査や工事完了に伴う確認調査を行っている。その中で安全対策の必要性は判断されているものと認識しており、現時点で専門家からの意見聴取などを行う考えはない。本市においても、住民の安全を確保するため、独自に事業者と打合せ、現地確認を行ってきたが、今後も適宜、現地確認を行い、必要な対応を実施していく。



ねもと まさあき
根本 雅昭



Q 令和5年9月定例会議で民間の各種学校の誘致を提案したが現在の状況は。

A 各種学校は、専門性の高い学びの場として人材育成、確保のほか、社会人の学び直しや趣味、教養を高める生涯学習機関でもあり、街なかへの誘致が実現すれば賑わい創出につながると捉えている。首都圏大学への調査や空きビルなどの不動産物件の情報収集と提供など、各種学校の誘致に取り組んできた。現時点で誘致に至っていないが、引き続き各種学校の誘致に取り組む。



さいとう まさあみ
斎藤 正臣



Q 複数のイベントなどで年間を通じ利用できる共通プラットフォーム型デジタルスタンプラリーを整備し、単発イベントの点から街なかの店の連携による線、年間を通じた面へ展開する仕組み作りへの見解は。

A アンケートでは、イベントによる周辺店舗への経済的効果が、十分及んでいない状況が伺えることから、共通プラットフォーム型デジタルスタンプラリーは、街なかへ来訪するきっかけを作り、魅力再発見の機会を創出する手段と認識している。官民一体で、回遊促進と賑わいづくりを進める体制の構築が必要である。



すがわら みちこ
菅原 美智子



Q 予定されている書かないワンストップ窓口の導入により想定される具体的な数値を含めた効果は。

A 令和8年の導入を予定し、職員が窓口で申請者と一緒に手続きを進めるため、その場で申請書が作成され、署名をいただき手続きが完了する。ライフイベントで特に効果が期待でき、6名世帯の転入を想定すると氏名は38回から14回、住所は21回から0回、生年月日は23回から0回に記載の回数が縮減され、所要時間は30分程度縮減され100分程度となる見込みである。今後業務改善を行い、さらなる縮減を図っていく。



さとう せい
佐藤 勢



Q ふくしまシティハーフマラソン2026について、ランナーや観光客の再訪につながる地元事業者と連携した経済波及効果向上の取り組みは。

A 実行委員会と連携し、共同浴場の割引券などを送付しているほか、観光スポットや飲食店情報の発信、食や祭りを楽しむ機会を提供しており、参加者が再訪する機会につながったと認識している。関連イベントは、街なかの賑わい創出や市のPRにも相乗効果を生み出した。新たな取り組みとして、街なかの飲食店へ期間中の営業を呼びかけるなど、大会を通じた経済効果向上に向け検討を進める。



おがた たけし
尾形 武



Q 水田の多面的機能を発揮し、食料安全保障の確立と遊休農地を増やさないためにコメの増産体制をとり、需要の確保に備蓄米や米粉等の活用と輸出拡大を図り、将来にわたり農村社会の維持発展を図るべきでは。

A 米を安定的に生産し、供給する体制の確保は、食料安全保障の観点から重要である。中山間地域に多くの農地を抱える本市にとって、国の水田政策における農村地域の保全や振興も重要な視点と認識している。引き続き充実した水田政策により農村地域の維持発展が図られるよう国の動向を注視し、適切に要望していく。



鈴木 正実
すずき まさみ

Q 保留床の最大300

億円という買取額は、多くの市民の理解は得られておらず、再開発事業への国、県、市の補助金など税金の投入を含め、市民へ伝えるための今後の取り組みは。

A これまで再開発、公共エリア取得については費用も含め、市議会のほか、地区ごとの意見交換会などで市民へ説明し、市ホームページなど情報発信により理解を求めてきた。引き続き、経費削減や国補助金、有利な市債の活用など財源確保に努め、折を見て内容を市民に説明し、一層の理解醸成を図っていく。



石山 波恵
いしやま なみえ

Q 来年夏前にMAX

ふくしまに大型量販店が出店予定だが、期待される効果についての見解は。

A 出店する大型量販店は、多様な商品を取り揃えており、若い世代、ファミリー層や中高年層など幅広い世代に対し高い集客力が見込まれる。出店により、MAXふくしま全体としての魅力や使い勝手が一層向上し、来街者の増加や新たな来街動機の創出に寄与すると考えており、中心市街地活性化の大きな契機になるものと受け止めている。日常生活の幅広いニーズに対応できる店舗であることから、生活利便性の向上にもつながるものと期待している。



川又 康彦
かわまた やすひこ

Q 農業被害に対する

本年度のクマの捕獲頭数について駆除数を含めて市の把握している頭数は。

A 農業被害にかかるクマの捕獲を行っているJAふくしま未来への聞き取りによれば、今年度の捕獲及び駆除頭数は、11月11日現在、22頭である。実質的な捕獲は、JAが猟友会に委託しており、JAが罠の申請をすると、県から通知があり、これにより設置状況を把握している。罠設置後の結果については、県などから情報提供はなく、こちらから問い合わせしている状況にはない。



遠藤 幸一
えんどう こういち

Q 排出者が特定できない不法投棄ごみの処分について、市の支援策を検討することへの見解は。

A 排出者が持ち帰らず残置されたままとなった不法投棄ごみは、ごみ集積所を管理する町内会の負担になっているものと認識している。引き続き、出前講座などを通して、ごみ出しルールの周知徹底に努めるとともに、不法投棄されにくい集積所の整備や町内会の不法投棄ごみ処分費用の軽減策など、必要な対応策について町内会との対話を通し検討を重ね、負担が生じないような不法投棄対策に取り組んでいく。



三浦 由美子
みうら ゆみこ

Q 訪問介護の現状と

課題についてヒアリングを全事業所で行い、課題解決のため市と介護事業者が一体となり継続的な会議体を作ることが重要では。

A 市訪問介護事業所連絡会（仮称）を新設し、市内全訪問介護事業所の参加を促す。現場からの声を聴き、国が示す加算制度や事業所に有益な情報、課題の共有や事業者間の関係構築の機会提供など、運営しやすい環境づくりを支援していく。事業者の意向を踏まえ定期的に開催し、オンライン等での参加など、参加者の負担も配慮しながら柔軟に実施していく。



高木 直人
たかぎ なおと

Q 大ゴッホ展の開催

に向け、美術館へ自家用車で訪れる方々に対する駐車対策の検討状況は。

A 開催期間中、県立美術館は、おもいやり駐車場のみとなり、自家用車利用の場合は福島駅周辺の有料駐車場から公共交通機関などで来場するよう関係機関と連携周知している。土日祝日は、パークアンドライドに加え、清水、飯坂支所、JAふくしま未来清水支店の駐車場を臨時駐車場として開放予定である。また、会場周辺の誘導員が、近隣駐車場を確認できるサイトを掲載したチラシを配布するなど、分かりやすい誘導と渋滞発生防止に努める。



市議会のしくみ(「代表質問」と「一般質問」とは)

福島市議会では会期を毎年8月1日から1年間とする通年会期制を採用しています。議案の審議、代表質問や一般質問は1年の会期の中の9、12、3、6月に開催される「定例会議」の中で集中して行いますが、必要に応じて「緊急会議」を開催します。

令和7年12月定例会議では、「代表質問」と「一般質問」が行われました。

本市議会における「代表質問」と「一般質問」の質問方式の違いについてお知らせします。



代表質問

- ・構成員が3人以上の会派ごとに、会派を代表して1名が質問します。
- ・総括質問方式(一括質問の後に一括答弁する方式)で実施し、市長及び議員改選後の初定例会議(質問時間1人30分以内)と、3月定例会議(質問時間1人60分以内)で行います。質問時間に答弁の時間は含まれません。
- ・再質問、再々質問は、いずれも10分以内で行うことができます。

一般質問

- ・定例会議ごとに、いずれの議員も一般質問をすることができます。
- ・一問一答方式(質問ごとに、その都度答弁する方式)で実施し、質問時間は答弁の時間を含め、1人60分以内で行います。

※一問一答方式の導入から20年余が経過したことから、よりよい質問のあり方について、今後議会運営委員会において検討を行っていきます。

※代表質問の記事はP 4～5、一般質問の記事はP 6～7に掲載しております。

議会基本条例の取組状況を検証しました

福島市議会では平成26年4月に議会基本条例を施行し、その目的を達成するため、さまざまな取り組みを行い、その施行状況について毎年検証を行っております。課題が見受けられる項目については今後、議長の諮問により議会運営委員会で検討を行っていきます。

検証内容

基本条例の3つの基本方針

- ①市民に開かれた議会
- ②議員間の自由闊達な議論・討論を行う議会
- ③政策立案や政策提言を積極的に行う議会

3つの基本方針に基づく取り組みを中心とした15項目を議会改革検討会において協議し、評価および今後の取り組み方針を決定しました。

今後も議会基本条例の基本理念のもと、議会のあり方や諸課題について検討し、市民の皆さまに分かりやすく開かれた議会を目指してまいります。

今後の取組方針(検証結果)

A 評価

★市民に分かりやすい言葉・表現の方法を用いた議会運営、議案、委員会資料の公開、市民参加の推進など(14項目)

➡今後も継続して取り組むべき。

B 評価

★本会議・委員会での議員間の自由討議(1項目)

➡委員会では実施されているが、近年本会議では実施されていない。本会議での実施に向けて、改善や新しい取り組みについて、先進事例等を検討すべきである。



詳しい内容はここから
ご覧ください



～議会図書室を利用できます～



複合棟(議事堂)4階の議会図書室は、議員の調査研究に支障のない範囲で、一般の方や市職員も図書の閲覧が可能です。土曜・日曜、休日及び年末年始以外の午前9時から午後5時まで利用できますので、議会事務局にお声かけください。



図書の閲覧をする市職員

議案等の審議結果

～全会一致で可決等されたもの～

区分	件名
市長提出	7年度補正予算 一般会計（第5号）／下水道事業会計／各特別会計
	条例制定 公共下水道事業及び農業集落排水事業に係る地方公営企業法の規定の全部の適用及び上水道事業との組織統合に伴う関係条例の整備に関する条例／児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
	条例改正 水道条例／職員の給与に関する条例等／学校給食センター条例／公設地方卸売市場条例／家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等／消費生活センター条例／火災予防条例及び火入れに関する条例
	人事 教育委員会委員任命／固定資産評価審査委員会委員選任／財産区管理委員選任
	事業契約一部変更 新学校給食センター整備運営事業
	工事請負契約 三河台小学校南校舎外壁等改修工事／信陵中学校校舎外壁等改修工事
	工事請負契約の一部変更 重要文化財旧広瀬座再整備工事（電気設備工事）
	その他 民事調停申立て／字の区域の変更／財産処分
議員提出	意見書 クマ被害防止対策への支援強化を求める意見書

～電子採決システムによる採決結果～

（○：賛成、×：反対）

	会派名		真政会										真結の会								市民21			公明党			日本共産党			無所属							
区分	議員名 件名	採決結果	鈴木哲	浦野洋太朗	佐藤勢	七島奈緒	石山波恵	白川敏明	萩原太郎	大平洋人	小松良行	半沢正典	黒沢仁	渡辺敏彦	菅原美智子	二階堂利枝	根本雅昭	斎藤正臣	川又康彦	鈴木正実	二階堂武文	尾形武志	真田広志	中央一照	遠藤幸一	佐原真紀	沢井和宏	羽田房男	高木克尚	高木直人	丹治誠	後藤善次	小野京子	山田裕	佐々木優	村山国子	三浦由美子
市長提出	7年度補正予算 一般会計（第4号） ／水道事業会計	○	○				議長のため採決に加わっていません					○								○				○			×					○					
	条例改正 議会議員の議員報酬 等に関する条例／市 長等の給与に関する 条例	○	○									○								○				○			×					○					
請願	地域の医師不足解消 を求める意見書提出 方について	×	×									×								×				○			×			○		○					
陳情	「最低賃金を引き上 げやすい環境整備の ために、中小企業・ 小規模事業者支援 の拡充を求める意見 書」提出方について	×	×									×								×				○			×			○		欠席	○				
	物価上昇に見合う年 金引き上げを求める 意見書提出方につい て	×	×									×								×				○			×			○			○				
	「消費税減税を求め る意見書」提出方につ いて	×	×									×								×				○			×			○			○				
	インボイス制度の廃 止をめざし、事業者 の負担を軽減する経 過措置を継続するよ う求める意見書提出 方について	×	×									×								×				○			×			○			○				
	市道清水田・柳清水 線の一部の整備等に 関することについて	×	×								×								○				×			×			×		○						

- ・採決結果の○は、提出された議案等に対して賛成多数で可決・採択されたことを示しています。
- ・採決結果の×は、提出された議案等に対して賛成少数もしくは賛成者なしで否決・不採択されたことを示しています。

トピックス1

令和7年秋季議会報告会・意見交換会を開催しました

議会基本条例に基づき、議会活動や市政に関する情報を市民の皆さまと共有し、市政全般について意見を交換するため、毎年春と秋に議会報告会と意見交換会を開催しています。

令和7年11月4日と6日に、信夫学習センターと蓬萊学習センター(分館)で開催したほか、青年層として福島県立医科大学生、女性団体として福島市消防団女性団員の皆さんとテーマを設けて実施しました。

福島県立医科大学生

11月4日(火)午後6時
参加人数…13人

【意見交換テーマ】

- ・福島市で学ぶ若者からみた市の課題
- ・将来の目標や地域への関わり方



信夫学習センター

11月4日(火)
午後6時
参加人数…6人



蓬萊学習センター(分館)

11月6日(木)
午後1時30分
参加人数…12人



福島市消防団女性団員

11月6日(木)午前10時
参加人数…9人

【意見交換テーマ】

- ・女性団員としての活動について
- ・地域社会における課題について



いただいたご意見は、議員全員で共有し、今後の議会活動にいかしてまいります。議会報告会・意見交換会の詳しい内容・結果はこちらからご覧ください。



トピックス2

新しい議員を紹介します

令和7年11月16日の福島市議会議員補欠選挙により、鈴木哲氏が当選されました。

定例会議初日の12月1日に総務常任委員に選任されました。



6番 鈴木 哲
真 政 会

議会傍聴者にインタビューを行いました

Q 傍聴の目的を教えてください。

A 質問内容に興味があり、特に街なかの活性化に関することを聴きたいと思い、傍聴に来ました。



Q 議会、議場の印象は？ 12月17日に傍聴された方

A 真面目で少し固そうなイメージでしたが、実際には思っていたよりも柔らかな雰囲気でした。また機会があれば傍聴したいです。



トピックス3

18日の本会議では、一般傍聴席62席が満席になるほど多くの皆様がお越しになりました。今後もぜひ、継続して傍聴にお越しください。

3月定例会議開催予定(3月2日～27日)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	本会議 (定例日)				本会議 (代表質問)	
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 (代表質問)	本会議 (代表質問・ 一般質問)	本会議 (一般質問)			
15	16	17	18	19	20	21
	本会議 (一般質問)	予算特別委員会 (全体会)	常任委員会 予算特別委員会(分科会)		(春分の日)	
22	23	24	25	26	27	28
	常任委員会 予算特別委員会(分科会)		予算特別委員会 (全体会)		本会議 (採決等)	

3月定例会議で審議する請願・陳情の締め切りは、3月3日(火)午前11時です。

◆市議会広報に関するご意見をお寄せください。

〒960-8601 福島市五老内町3番1号
電話 024-525-3776 FAX 024-534-2520
福島市議会 活動推進検討会あて

◆市議会ホームページをご覧ください。

<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/gikai/index.html>

発行：福島市議会
編集：活動推進検討会

